

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392100109
事業所名	グループホーム額田あじさいの家

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	民生委員や副総代など地域の代表の力を借りながら、利用者と事業所が地域との繋がりが持てるよう努めている。 散歩で近隣住民と挨拶を交わし、日常的なつきあいが出来るよう努めている。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は2ヵ月毎に開催しており、事業所の取組みを報告し、参加者から助言や提案をもらい、運営に活かしている。 利用者も参加し、率直な意見を出してもらい、行政担当や地域の出席者に理解を求めている。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には、地域包括支援センターの職員が出席しており事業所の状況は行政に理解されている。 市の担当者とも電話や窓口に出向いて相談できる関係性を築いている。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族とは面会時等で直接話す機会を設け、事業所に対する意見をもらっている。良いことも悪いことも話せる関係作りを心がけており、出された意見は記録に残し、職員で共有して改善に努めている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○